

2025 年度

学生協働支援隊
こども夢拾い

1. 背景と目的

市民団体「こども夢拾い」は、東西条地区で毎月第3土曜日に子どもたちとともにごみ拾いを行い、地域の環境美化や交流、環境意識の向上を目的に活動している。近年は地域の外からの参加も見られるようになったが、活動の認知度はまだ十分とはいえず、より多くの人に活動を知ってもらいたいという課題がある。そこで、学生協働支援隊が団体と連携し、広報や企画面をサポートすることで新たな視点を取り入れ、活動の魅力を広く発信することとした。本プロジェクトでは、親子や地域住民にごみ拾いの楽しさや地域とのつながりの大切さを体験してもらい、活動の継続と参加の輪の拡大を目指した。

2. 実施概要

(事前相談期間)

2025年2月17日 コーディネーターと市民団体で事前相談
2025年4月19日 第1回打ち合わせ
2025年5月17日 イベント参加、第2回打ち合わせ
2025年6月26日 第3回打ち合わせ
2025年9月6日 第4回打ち合わせ

(事業実施)

2025年10月13日（月）8:30～11:30

3. 実施結果

学生協働支援隊は、このプロジェクトにおいて、活動の認知度を高めるための企画立案から広報、当日の運営補助、記録作成まで多面的に関わった。団体との打ち合わせを重ねながら、イベントの方向性を整理し、チラシや参加募集フォームの作成など広報面と企画の中身のアイデア出しを中心にサポートした。また、マイクロプラスチックに関する紙芝居や説明資料を作成し、子どもたちが環境問題を身近に感じられるよう工夫を行った。イベント当日は受付や進行補助を担当し、参加者との交流を通して活動の魅力を発信した。こうした一連の関わりを通じて、団体の活動認知度向上と新規参加者の拡大に寄与するとともに、学生自身も地域活動への理解を深める機会となった。

● 写真（当日の写真）

<https://photos.app.goo.gl/YBsqWCigME3hsaVK7>

4. 今後に向けて

今回の協働を通じて、こども夢拾いの活動の魅力を多くの人に伝え、地域や世代を超えたつながりを生むことができた。学生協働支援隊が関わることで、新たな広報手法や運営の工夫が生まれ、今後の活動継続に向けた基盤づくりが進んだといえる。今後は、今年度の経験を活かし、団体が主体となって自走できる形で次年度以降もイベントを実施できるよう支援していくことが重要である。引き続き、学生と地域が協働しながら、環境美化や地域交流の輪を広げ、子どもたちにとって身近で楽しい地域活動として根付かせていきたい。

【第1回の打ち合わせ】

【日時】2025年4月19日（土） 10:00～11:30

【場所】市民協働センター

【参加者】合計9名（学生2名、コーディネーター3名、市民団体2名＋子ども2人）
(宍戸、信行、山田、西、永田、吉盛)

【内容】

「こども夢拾い」と学生協働支援隊との初回打ち合わせを実施した。団体の活動内容として、東西条地区にて毎月第3土曜日の朝に子どもたちとともにごみ拾いを行い、地域や環境への意識を高めることを目的としていることを共有した。今回の協働プロジェクトでは、9月のSDGs週間に合わせて安芸津または竹原で親子向けのごみ拾いイベントを企画し、認知度の向上と参加者の拡大を目指すことが決まった。ゲーム感覚の企画やシーグラスを使ったアップサイクル体験などのアイデアも検討された。

【実施内容】

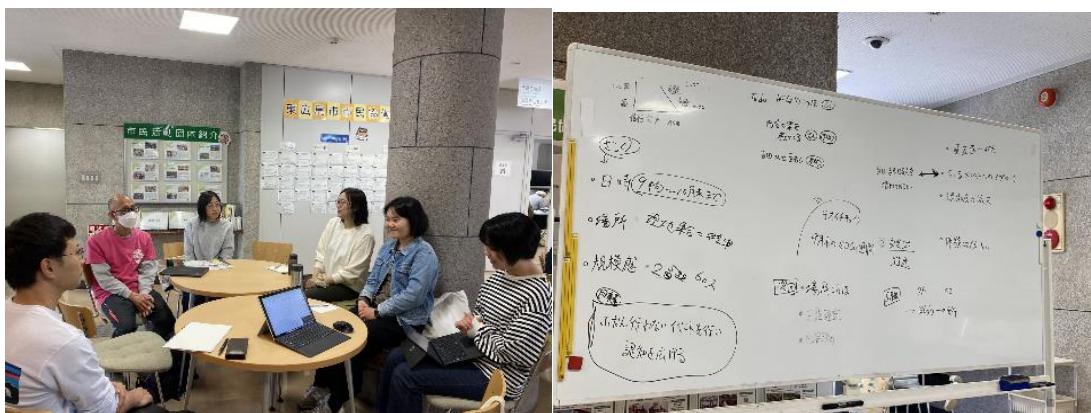
自己紹介（名前、所属、最近よかったこと・GWの予定）

活動紹介

課題についてヒアリング

今回のPJの目的とゴール

全体のスケジュール



【今後に向けて】

イベント内容や広報の方向性を整理し、役割分担を決定する必要がある。イベント会場の候補地の下見や、広報資料（チラシ・募集フォーム等）の作成、吉田さんとの連携など、具体的な準備を進めていく。また、5月17日（土）の活動参加および次回打ち合わせで詳細を詰めていく予定。

【当日の感想】

初回ながら和やかな雰囲気で話が進み、アイデアも活発に出されて有意義な時間となった。普段の活動の中にある「楽しさ」や「達成感」が伝わり、ごみ拾いが意外にも魅力的な活動であると感じた。今後、一緒に盛り上げることへの期待感も高まった。

【第2回の打ち合わせ】

【日時】2025年5月17日（土） 7:00～10:00

【場所】活動への参加（東西条）あすなろベーキングカンパニー

【参加者】合計17名（学生4名、コーディネーター1名、地域12名（うちMTG参加は6名））

【内容】

【実施内容】

自己紹介（名前、所属）

朝礼（ミッションの読み上げ・集合写真撮影）

ごみ拾い（道路脇、川沿い等）

終礼（分別・良いところ探しと感想の発表・スタンプカード・水分補給）

休憩（パン購入・朝食）

ミーティング

・自己紹介（名前・所属・今の気持ち）

・互いの現状の共有

・イベントの企画内容のすり合わせ

・候補日決定

・イベント概要の決定（対象者・参加条件・参加費・募集時期等）

・今後の動きの確認



【今後に向けて】

イベント会場の候補地を下見した後、日程と会場を決定する必要がある。6月ごろにはチラシのデザインと募集フォームの作成を行う。7月中旬には、広報を開始する予定。学生は、マイクロプラスチックについて子どもたちに説明する講座の資料を作成する。子ども夢拾いの方には、イベントの内容の詳細決定（特にお土産・準備物）、スケジュール調整、保険加入手続きなどを行ってもらう。

【当日の感想】

今回は、初めて学生も活動に参加し、ごみ拾いを行った。小雨ではあったが当日の感想を発表する中で「楽しかった」「気持ち良かった」という声が多く、活動の魅力を体験すること

ができた。学生が夢拾いの活動に共感し、より積極的に参加できるきっかけになったと感じる。学生で事前に考えた内容企画と夢拾いの方が考えた内容企画の意図が一致している部分があつたため、すり合わせてより深く企画を考えることができた。イベントの実施に向けて具体的な準備を進めて行きたい。

【第3回の打ち合わせ】

【日時】2025年6月26日（木） 10:00～11:30

【場所】安芸津木谷

【参加者】合計9名（学生1名、コーディネーター2名、地域づくり推進課1名、地域5名）

【実施内容】

安芸津木谷の地域側にこども夢拾いの活動を紹介し、海での夢拾いの活動をする目的と内容を共有した。木谷でも海と地域のつながりを大切にしたイベントをしてきており、今回の開催予定のイベントでも環境問題についても考えつつ、こども夢拾いの初参加者や木谷の地域の方も参加できるようなイベントにしていく方向性となった。イベント開催日は2025年10月13日（月）に決定した。加えて当日のイベント会場の下見も行った。駐車場の位置やごみ拾いの場所を確認し、ざるを使ったマイクロプラスチックの回収方法を検討した



【今後に向けて】

イベント後のごみ処理の方法、集会所の駐車場・トイレの使用が可能か確認を行う。予算を把握したうえで、チラシ、フォームの作成を行う。7月中には決定事項を詰め、チラシ、フォーム等も完成し、8月には広報を開始する。9月には募集を締め切る。当日の分担等は9月6日に打ち合わせを行う。

シーグラスやカラフルな
ゴミ、マイクロプラスチックを
探してみよう・集めてみよう！

木谷の海をきれいにしよう！ こども夢拾い大集合

2025年
10月13日（月・祝）
9:30～11:30

場所
活動場所
安芸津町木谷
(赤崎集合所近くの海岸)

内容

- ★夢（ゴミ）拾い
- ★シーグラスなどの
夢さがし

【当日のスケジュール（予定）】

- 9:30 開会・朝礼
- 10:00 海のごみや環境についての学びの時間
- 10:30 ゴミ拾い
- 11:30 終業・解散

みんなで環境について
遊びながら楽しくゴミ拾い
してみませんか？

申込みは
こちら

QRコード

開催：9月13日（月）

【主催】こども夢拾い
【協力】アオイデキュウヘ
【問い合わせ】mihirumusuji@gmail.com (事務局市民活動センター)

【当日の感想】

実際にごみ拾いのイベントを行う海岸を見た時に、プラスチックごみ、発泡スチロールがバラバラに碎けてしまったごみなど、想定以上に多くのごみが打ち上げられていた。シーグラスも多く見つかった。また、ざるを使ってマイクロプラスチックをすくうことについては、マイクロプラスチックを見つける難しさがあるが、砂だけでなく貝殻、色がついたものなど、様々なものがすくえた。普段のごみ拾いとはごみの種類や規模が違うので、子どもたちも楽しみながら、活動してもらえるのではないかと感じた。当日のイベントがより充実するように、準備に力を入れていきたい。

【第4回の打ち合わせ】

【日時】2025年9月6日（土） 10:00～11:15

【場所】東広島市役所 協働センター

【参加者】合計7名（学生1名、コーディネーター2名、市民団体4名）

【実施内容】

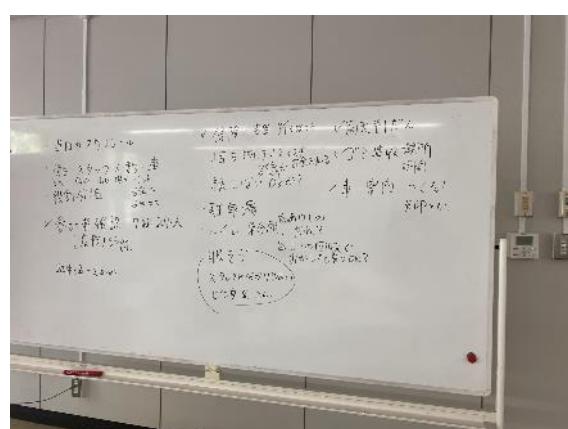
2025年10月13日（月）に安芸津木谷の海岸沿いで開催の夢拾いイベントに向けて、具体的なスケジュールや役割分担等を確認した。

チェックイン（名前、最近よかったこと、夏休みの思い出）

前回までの振り返り

当日の詳細（スケジュール、スタッフの人数・車、参加者確認、役割、今後の広報、保険の手続き、持ち物、紙芝居、駐車場、トイレ、雨天時、ごみ収集の方法、服装、マップとチラシ、今後やることの確認）

チェックアウト（意気込み）



【今後に向けて】

イベント開催に向けて、引き続き準備を進めていく。各々ごみ拾いに使う道具の準備や、会場のセッティング、紙芝居の準備などを分担して行っていく。

【当日の感想】

イベントの開催が1か月後に迫っており、開催者側で、具体的な分担をすると共に、当日のイメージを持つことができた。子どもが主体の活動であるため、子どもたちにごみ拾いを楽しみながら参加してもらえばと思う。すでに応募がある参加者は普段夢拾いの活動はされていない新規の参加者であり、夢拾いの輪がもっと広くなっていくきっかけとなるイベントになればよいなと思う。

【イベント当日】

【日時】2025年10月13日（月） 8:30～11:30（イベントは9:30～11:00）

【場所】安芸津木谷の海

【参加者】合計60名（イベント参加者28名、学生協働支援隊5名、コーディネーター3名、木谷自治協議会3名、夢拾いメンバー21名）

【内容】

安芸津木谷の海岸沿いで夢拾いのイベントを開催した。

【実施内容】

8:30 現地集合

8:30～9:00 会場のセットアップ（受付の設営、駐車場、赤崎集会所のトイレ）

9:00～9:30 参加者集合

9:30～10:00 始まりの会

こども夢拾い、東広島アップサイクル協議会 アオイチキュウヘ、学生協働支援隊の紹介

海ごみについての紙芝居

10:00～11:00 夢拾いの時間（海のごみ、シーグラス、貝集め）

11:00～11:30 終わりの会

子どもたちの感想

写真撮影・片付け



【イベント後の子どもたちの感想】

- ・予想以上に海のごみが多かった。
- ・海にごみを出さないように気をつけたい。
- ・楽しかった。
- ・シーグラスがきれいだった、いっぱいあってよかった。
- ・鉄や陶器のごみがあった。

【当日の感想】

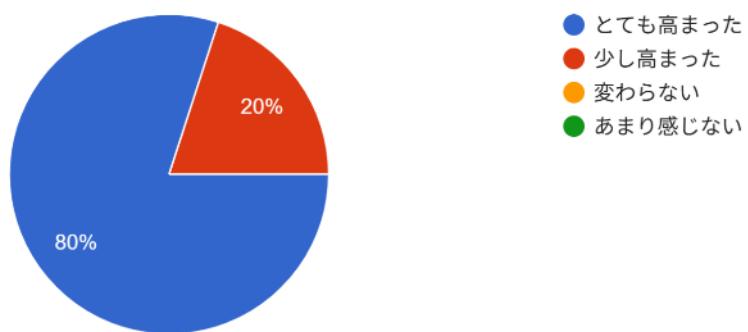
当日は天気も良く、暑い日となった。海ごみ・夢を拾う前に、夢拾いのミッションの復唱と海ごみがどうして出るのかとマイクロプラスチックについての紙芝居での説明があるので、夢拾いの活動の目的を共有することができたと思う。当日も海のごみワイヤー、ペットボトルなどのプラスチックごみ、発泡スチロールが細かく砕けたもの、陶器、電池など本当に

様々にあった。これらのごみを回収できたのは、一人ではなく、多くの参加者がいたことで達成できた。今回の海岸での夢拾いのイベントによって、今後普段の夢拾いの活動に新しいメンバーが加わること、さらに夢拾いの活動の認知度が上がることにつながっていければと思う。

【アンケート結果】

今回のイベントを通して、この団体への理解や関心はどれくらい高まりましたか？

5 件の回答



今後夢拾いの活動にも参加してみたいと思いますか？

5 件の回答

